

実績

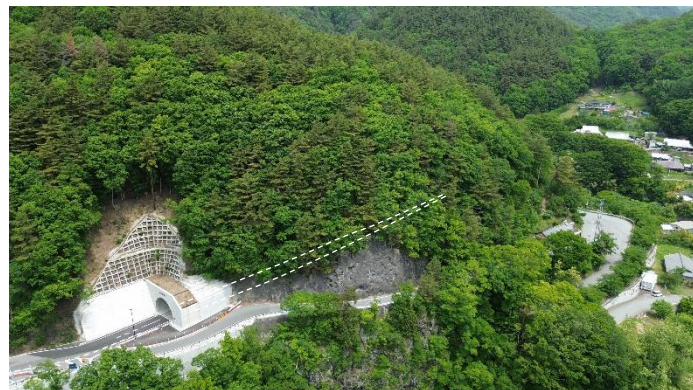
- （主）富士川身延線（井出工区）をはじめとする広域的な避難・救援活動に資する幹線道路の供用開始
- 沿線地域住民の避難路となる生活幹線道路の供用開始
- 新山梨環状道路（北部区間）の工事に着手
- 未供用路線における早期供用開始に向けた事業推進

効果

- 幹線道路の整備による大規模災害時の広域避難・救援ルートの確保
- 生活幹線道路の整備による沿線地域住民の避難路機能の向上
- 災害時の救助・救援活動及び緊急物資輸送を支える道路ネットワークの強化
- 中山間地域等における孤立リスクの低減への寄与



（主）富士川身延線（井出工区）（南部町）



（主）荏崎増富線（江草岩下トンネル）（北杜市）

（主）南アルプス公園線（令和元年東日本台風災害）



- ✓ （主）南アルプス公園線（南巨摩郡早川町奈良田地内）における道路崩壊及び法面崩壊について、災害復旧事業の実施により、被災した道路の機能回復を図るとともに、災害時における避難路機能の確保を図った。



👍 実績

- (主) 南アルプス公園線をはじめとする道路防災事業32箇所の完了
- 国道413号をはじめとする事前通行規制区間11区間における規制基準の解除・緩和
- 落石・法面崩落等の危険箇所における道路防災対策の推進

👥 効果

- 法面对策の実施による道路防災危険箇所の安全性向上
- 豪雨時等における道路災害リスクの低減
- 災害時の避難・救援活動及び緊急物資輸送を支える道路機能の確保
- 中山間地域等における孤立リスクの低減への寄与

主な整備完了箇所

(主) 南アルプス公園線（早川町高住地内）



国道413号（道志村月夜野地内）



国道300号（身延町中ノ倉地内）



指標	当初 (R1)	実績 (R7)	目標 (R7)
指標18:国、県、市町村道での電線類地中化の整備延長（km）	134	174	173

実績

- 国道20号（甲斐電線共同溝）をはじめとする60箇所における電線共同溝工事着手
- 県管理道路における（主）甲府韮崎線をはじめとする22箇所の電線共同溝工事完了
- 計画期間内に、国道、県道及び市町村道における電線共同溝40kmの整備
- 早期抜柱に向けた関係機関との連携による事業推進

効果

- 電線類地中化による災害時の電柱倒壊等に起因する道路閉塞リスクの低減
- 避難・救援活動及び緊急物資輸送を支える通行機能の確保
- 電柱撤去による歩行者空間の確保と安全な道路環境の形成
- 良好な景観形成によるまちなみの魅力向上

電柱があると・・・

主な抜柱済工区

（主）甲府韮崎線（湯村Ⅱ期工区）



（一）身延線（身延2工区）



国道139号（下吉田Ⅱ期工区）



引用：国土交通省HP

実績

- 道の駅5駅における防災拠点施設としての維持補修等の実施
- 7県営都市公園における防災拠点施設としての整備等の実施
- 道路啓開計画の策定
- 災害時応急対応に備えた7協定の締結
- 地震、風水害、土砂災害等を想定した12種類の防災訓練の実施

ハード対策（防災拠点機能の強化）

- ✓ 5駅（みとみ、しらね、花かげの郷まきおか、しもべ、かつやま）の防災機能の維持補修を実施



道の駅みとみ



道の駅しらね（防災備蓄倉庫、防災井戸）

- ✓ 防災活動拠点として指定された7県営都市公園（小瀬スポーツ公園、桂川ウェルネスパークほか）の防災活動拠点機能強化につながる公園施設整備を実施



非常用発電設備（小瀬スポーツ公園）



ヘリポート（桂川ウェルネスパーク）



防災倉庫（富士川クラフトパーク）

効果

- 道の駅や都市公園における防災拠点機能及び一時避難機能の強化
- 道路啓開計画の策定による災害時の道路機能確保に向けた対応力の向上
- 関係機関との協定締結及び訓練実施による迅速な情報収集・応急対応体制の強化
- 大規模災害時の避難、救援、復旧活動を支える実効性ある体制の構築

ソフト対策（協定更新・訓練実施等）

- ✓ 令和6年12月に策定した道路啓開計画に基づいた訓練等、各種訓練を定期的実施
- ✓ 令和7年11月、新たに「一般社団法人日本ムービングハウス協会」及び「一般社団法人日本ログハウス協会」の2団体と「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結



道路啓開訓練（地震）



山静神土木部局相互応援訓練



ドローンを用いた現場調査訓練



マンホールへの入孔訓練



災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定の締結

実績

- 水位計未設置河川における簡易型水位計の設置（103箇所）及び水位情報の提供
- 河川監視カメラの設置（25箇所）による河川映像情報の提供
- 浸水想定区域の公表及び市町村の洪水ハザードマップ作成支援による
水害リスク情報の周知
- 都市復興ガイドライン等に基づく模擬訓練・研修の実施による
市町村の防災まちづくり支援

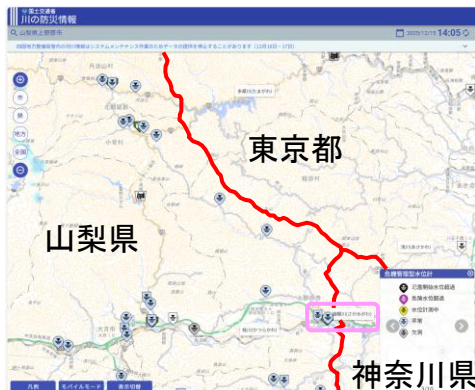
効果

- 簡易型水位計や河川監視カメラによる水害リスク情報の充実
- 河川水位・映像情報の提供による水防活動及び避難判断の迅速化への寄与
- 浸水想定区域やハザードマップの周知による住民の水害リスクへの理解促進
- 模擬訓練・研修を通じた市町村の復興まちづくり対応力の向上

簡易型水位計・河川監視カメラ設置事例



危機管理型水位計



川の防災情報 国土交通省 <https://www.river.go.jp>

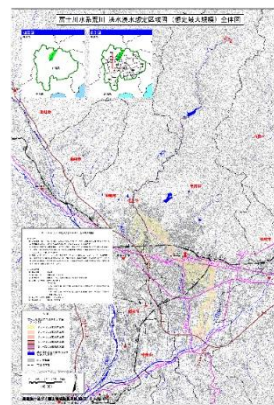
河川監視カメラ設置（例）



洪水ハザードマップの作成支援



甲府市洪水ハザードマップ



※ 中小河川荒川（甲府市、甲斐市）
洪水浸水想定区域図

指定：令和5年3月23日 その他の河川
（洪水予報河川指定区間の上流）

都市復興ガイドライン等に基づく模擬訓練



実績

- 県、水防団体及び関係機関が参加する水防訓練の実施
- 被災建築物応急危険度判定士及び被災宅地危険度判定士の養成講習・研修の実施
- 小学生を対象とした砂防移動教室の実施
- 市町村の土砂災害訓練と連動した土砂災害リスク及び避難行動に関する啓発活動の実施

効果

- 水防訓練による水防団体及び関係機関の連携強化と洪水時の初動対応力向上
- 危険度判定士の養成・研修による被災建築物・宅地の判定体制の強化
- 砂防移動教室や土砂災害訓練と連動した啓発による土砂災害リスクへの理解促進
- 災害時に自ら判断し行動できる人材育成を通じた地域防災力の向上

水防訓練



積み土のう訓練（富士河口湖町）



埋没車両からの救出訓練（警察）

被災建築物・宅地危険度判定士養成



被災建築物応急危険度判定士訓練



被災宅地危険度判定士養成講習会

砂防移動教室



土砂災害訓練



実績

- 中部横断自動車道（静岡～山梨間）の全線開通（令和3年8月）
- 新山梨環状道路（東部区間Ⅰ期）の供用開始（令和4年11月）
- 新山梨環状道路（東部区間Ⅱ期）及び（仮称）甲府中央スマートICの供用開始に向けた事業推進

効果

- 道路ネットワークの整備進展による高次医療機関へのアクセス性向上
- 新山梨環状道路等の整備推進による30分アクセス圏人口カバー率向上に向けた基盤形成
- 救急搬送や通院時の移動円滑化を支える道路機能の強化
- 安全安心な生活環境を支える救急医療アクセス基盤の形成

中部横断自動車道



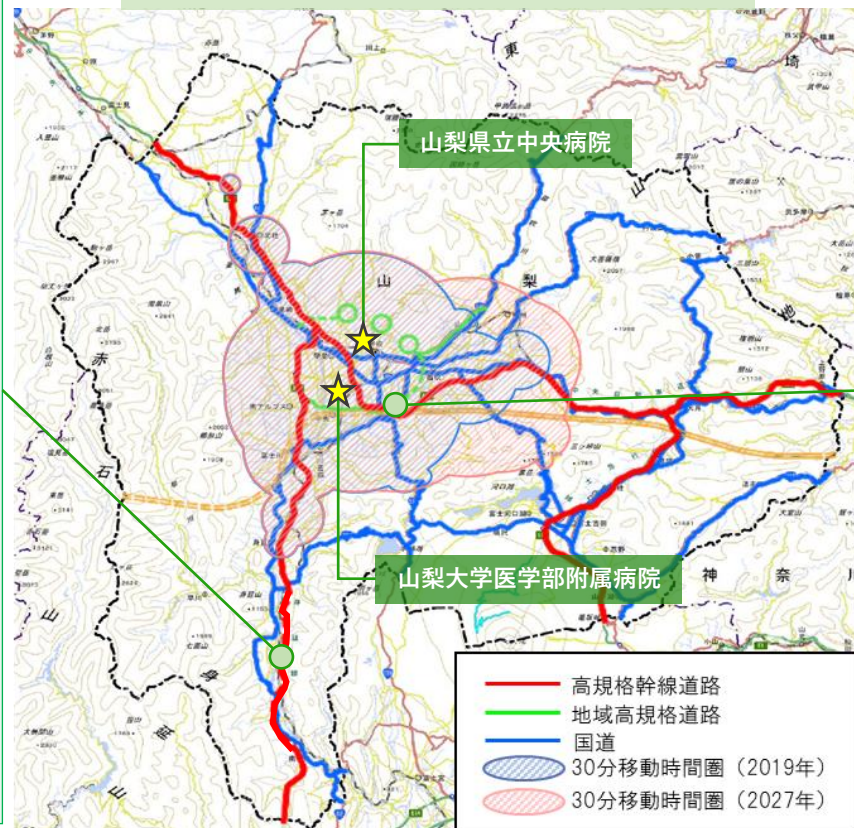
身延山IC

画像提供：国土交通省



開通式（R3.8）

高次医療機関から30分以内にアクセスできる圏域



※第四次計画策定時（R1）の想定図

新山梨環状道路



西下条ランプ



中央自動車道交差点

👍 実績

- 通学路合同点検や個別要望に基づく通学路対策462箇所の事業着手
- (主) 甲府山梨線をはじめとする395箇所の通学路対策工事の完了
- カラー舗装、車止めの設置、路面標示、歩道整備等による安全対策の実施

主な整備完了箇所

車止めの設置
(主) 甲府山梨線 山梨市市川地内)



歩道のフラット化
(主) 韮崎南アルプス富士川線 富士川町鯉沢地内)



歩道設置
(主) 甲斐中央線 甲斐市篠原地内)



👥 効果

- 通学路における危険箇所の改善による児童・生徒等の安全性向上
- カラー舗装、車止めの設置、路面標示等による歩行者・自転車利用者への注意喚起と安全性向上
- 歩道整備等による歩行空間の確保と通学環境の改善
- 通学児童・生徒をはじめとする道路利用者の交通事故リスク低減への寄与

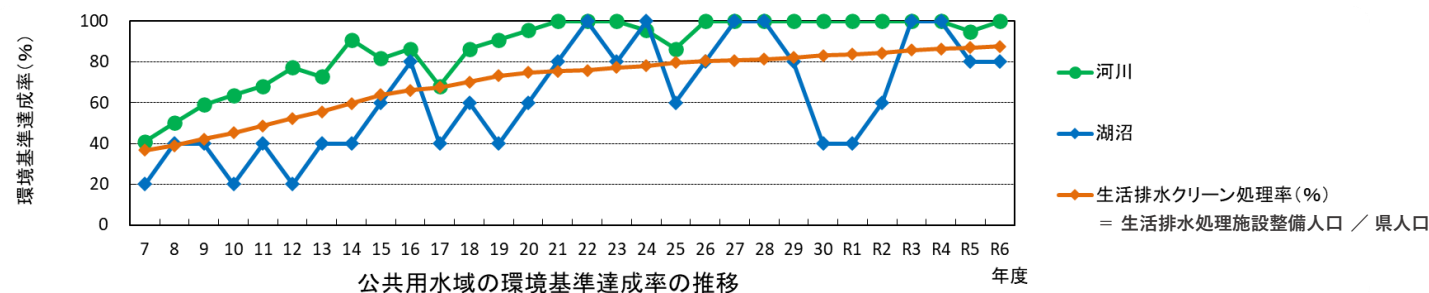
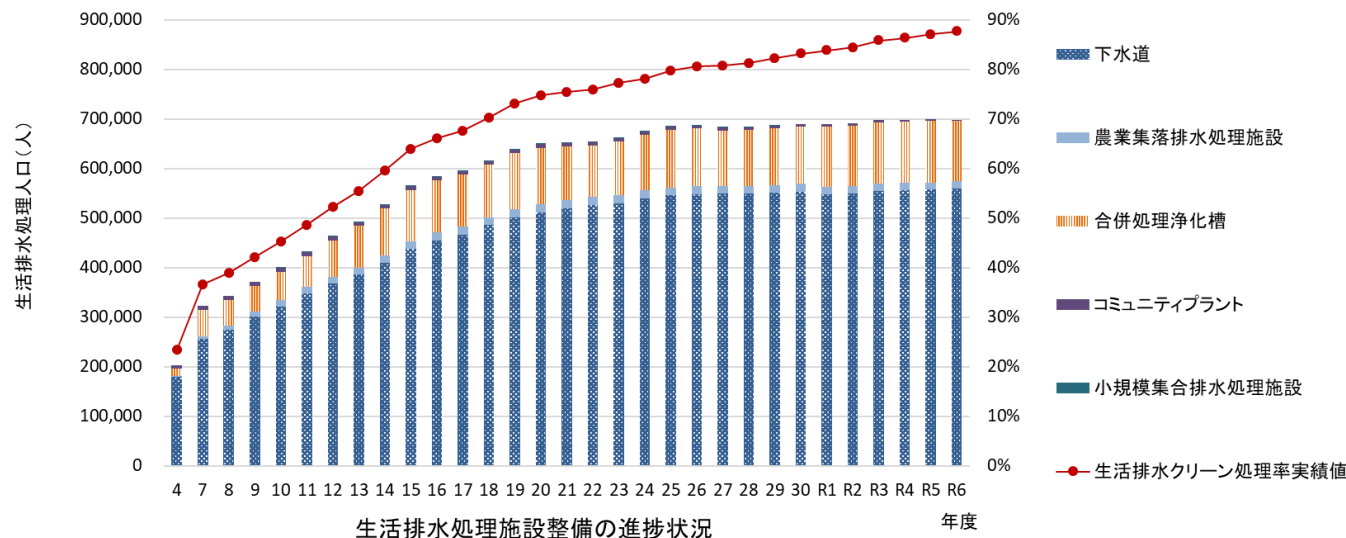
指標	当初 (R1)	実績 (R7)	目標 (R7)
指標20:生活排水クリーン処理率（%）	83.8	87.9	88.3

実績

- 浄化槽設置整備事業を実施する19市町村への補助金交付
- 流域下水道整備事業による下水道施設整備の推進
- 公共下水道普及促進費補助金等による下水道の普及促進
- 地域条件に応じた生活排水処理施設の整備推進

効果

- 下水道及び浄化槽の整備促進による生活排水クリーン処理率の向上
- 未処理生活排水の減少による公共用水域の水質保全
- 河川や湖沼等における良好な水辺環境の維持
- 衛生的で快適な生活環境の確保への寄与



生活排水処理施設の種類

- 流域下水道
- 公共下水道
- 農業集落排水処理施設
- 簡易排水処理施設
- コミュニティプラント
- 共同浄化槽
- 小規模集合排水処理施設
- 浄化槽
- 個別排水処理施設



清流での環境教育

※項目は汚濁負荷の指標となるBOD(河川)、COD(湖沼)